

平成30年9月10日

杉並区議会議長
大熊 昌巳 様

文化芸術・スポーツに関する特別委員会
委員長 上野 エリカ

文化芸術・スポーツに関する特別委員会活動経過報告書

文化芸術・スポーツに関する特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

記

1 平成30年6月13日

(1) 報告聴取

ア スポーツツーリズム推進事業の取組について

(ア) 事業概要

スポーツツーリズム推進事業は、健康スポーツライフ杉並プランに掲げる新たな計画事業で、交流自治体で行われるスポーツ体験や試合観戦に関する情報を提供する。また、交流自治体での体験ツアーなどに、スポーツ・運動の要素を含めた地元の人々との交流事業を実施し、日常と異なる環境でのスポーツ・運動のきっかけづくりを行う。

(イ) これまでの取組

- ・交流自治体で開催されるスポーツイベント情報を、交流自治体情報誌「てくてく」に掲載し、周知した。
- ・各交流自治体に対し、今年8月からの1年間で、区民が参加・観覧できるスポーツイベントの調査を行い、調査結果は、22事業のイベントがあった。

(ウ) 今後の取組

- ・各交流自治体で開催されるスポーツイベントについて、各広報誌、区ホームページにて、広く区民に周知していく。
- ・杉並区交流協会主催の交流自治体ツアーに、スポーツ・運動の要素を取り入れたプログラムを検討していく。

イ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた区の取組について

(ア) 大会の理解促進に向けた取組

- ・スポーツ振興等事業補助金対象事業として、普及啓発事業16事業、障害者スポーツ地域振興事業2事業を実施する予定。
- ・区民懇談会委員による事業として、「スポーツ・こども・地域活性」の3つのテーマについて事業化を進めていく。
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック2年前イベントとして、文化プログラム「和文化発信 BATA ART EXHIBITION」の開催を予定。
- ・ホームステイ・ホームビジット支援事業として、ホストファミリー公募に向けて、関係各課と調整をしていく。
- ・ボランティア意識の高揚を図るため、外国人語学おもてなし講座の開催。

(イ) 事前キャンプ招致に向けた取組

姉妹都市・隣接区・交流協会等を通じて関係のあった国に、ビーチコートの活用についてお知らせをしている。さらに、6月に国際競技連盟基準取得に向けた審査を受け、7月には、大会組織委員会ホームページに正式登録を行い、招致活動を加速させる。

また、上井草スポーツセンター等において、ゴールボール日本代表の強化合宿の開催を目指し、調整を行っていく。

(ウ) 大会組織委員会及び東京都の動き

- ・大会ボランティア及び都市ボランティアの要項が発表された。
- ・全国を114日間かけて聖火リレーを行い、東京都においては、15日間、62市区町村全てを回ることが発表された。また、実行委員会の設立と、各種運営については、都道府県の役割であることも発表された。

ウ 平成30年度 スポーツ振興に関する主な事業について

(ア) スポーツ推進計画の推進に関すること

- ・スポーツ指導者の育成を図る「すぎなみスポーツアカデミー」の実施
- ・スポーツ教室参加を促す「スポーツ始めキャンペーン」の実施

(イ) 社会体育施設等に関すること

- ・体育施設の維持管理（運動場12か所、体育館6か所、プール5か所）
- ・上井草スポーツセンターの大規模改修（11月～31年3月）
- ・大宮前体育館の指定管理者の選定

(ウ) 公益財団法人杉並区スポーツ振興財団に関すること

- (エ) 体育施設の改築及び整備計画に関すること
 - ・永福体育館移転改修（平成 30 年 9 月開設予定）
- (オ) 体育団体に関すること
 - ・各種体育団体の育成
- (カ) スポーツ推進委員に関すること
 - ・平成 30 年 4 月現在、スポーツ推進委員 27 名を委嘱
- (キ) その他体育及びレクリエーションに関すること
 - ・(仮称) 夏休み！オリンピック。パラリンピック体験イベント（7 月）
 - ・交流自治体中学生親善野球大会（10 月）
 - ・中学校対抗駅伝大会（12 月）
 - ・区民体育祭、スポーツ・レクリエーション大会の開催 49 種目
 - ・わいわいスポーツ教室（重度心身障害者スポーツ教室）6 回
- (ク) 次世代トップアスリートの育成・支援事業「チャレンジ・アスリート」
 - ・体験教室 3 回の実施を予定